

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』

会長 中目 公英
幹事 兼子 英聡



ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度国際ロータリーテーマ

第1605回例会

令和元年10月31日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 中目公英会長 (国際ロータリー第2530地区の地区大会に参加いただいた会員には、大変ご苦勞様でした。そして、鈴木孝幸さん、堀田一彦さん、報告の発表をありがとうございました。)
- 永野文雄会員 (地区大会参加の皆様ご苦勞様でした。私は昭和町の「敬老会」の為、欠席でした。鈴木孝幸会員、堀田会員、発表ありがとうございました。)
- 渡部則也会員 (久しぶりの例会出席となっていました。結婚記念日のプレゼントありがとうございました。)
- 堀田一彦会員 (先週のJ C・Y E G交流コンペで優勝する事が出来ました。ありがとうございました。)

国際ロータリー第2530地区 地区大会



10月27日(日) パルセいいざか

▶第1605回例会出席状況 (R元年10月31日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	23名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	3名
Ⓕ ②の出席者数	8名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	34名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	52
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	65.38%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

中目公英会長

皆さん、こんばんは。今日は10月31日、月末の何かと忙しい中、皆様方には例会のほうにご出席をいただきまして本当にありがとうございます。今日は福島県議会議員の選挙の告示日でございました。我がクラブのほうに、出陣式に出席してくださいというご案内を満山喜一県議と渡辺義信県議のほうからクラブのほうに頂戴しましたので、三村さんからはなかったので行ってきませんが、その両陣営の出陣式に取りあえずロータリークラブの会長として顔を出してきました。2～3日前までは、今日一日の選挙で今頃本当は当選が決まっているという話だったのが、急に選挙になって10日間選挙戦が戦われることになった次第であります。その出陣式に来ていた応援弁士の皆さん方が皆等しく、台風19号で被害が大変厳しく復旧の工事からこれから本格工事の査定があって、なんだかんだ大変忙しい時に選挙やってる場合じゃないとかいうふうなお話がありました。ただ、そうはいっても投票率が下がってしまいますと、民意が正しく反映されませんから、是非11月10日の投票日には今日出陣式に来ている皆さん方はどうぞ周りの方々に投票率が下がらないように投票行動してもらいたいと、そういうふうなお話をなさる方が100パーセントでございましたので、今日出席しているロータリークラブの皆さん方も是非棄権せずに、11月10日の投票日には投票行動をしていただければ大変ありがたいと。そうすることによって、台風19号の被害の復興等々のほうがスムーズに進むというわけでございますので、よろしく願いいたします。また、先週末の10月25、26日は、国際ロータリー第2530地区の地区大会が「パルセ飯坂」のほうで行われました。我がクラブのほうからも多くの方々にご参加をいただきました。本日の例会はその地区大会の報告会となっております。私がロータリークラブに入会した頃は、毎年必ず地区大会の報告会というものが執り行われていましたが、ここ何年間かこのようなことはなかったと記憶しております。この地区大会の例会での報告というのは、ロータリークラブにとっては一種のクラブ協議会と同じ意味付けがありまして、国際ロータリー第2530地区においてどのような動きがあるかを勉強してきて、それを残念ながら地区大会に出席できない会員にその地区大会の様子を伝えて、ロータリー情報を分かち合うという大変貴重な機会でありますので、今日発表していただく鈴木孝幸さん、ならびに堀田一彦さんにはよろしくお願ひしたいと思っております。今日はお客様が誰もいませんで、ロータリーづくしと思ひまして、少し会長の時間をいただいてお話をさせていただければと思ひました。皆さん方のお手元に標準ロータリークラブ定款というぺらぺら紙を1枚お渡しをしているかと

思ひます。こちらの1枚をご覧ください。私の年度でこの標準ロータリークラブ定款を最新バージョンにバージョンアップしようということで、目下宮本委員長さんのほうにお骨折りをいただいているいろいろと作業に入っておりますが、今日はその前段階としてロータリークラブの景観が大きく変わったことの一つを取り上げたいと思ひまして、皆さん方に資料をお渡ししました。まずその第3条、クラブの目的。今までロータリークラブ標準クラブ定款にはクラブの目的というこの1条はありませんでした。2016年の規定審議委員会の改定の時にロータリークラブの目的というのが1条加わったところでありまして。その次の1条抜かしてありますが、第5条のほうには昔からの目的ということがあります。ロータリーの目的という、通常はこの5条のほうの目的をいいます。読んでみます。ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。具体的には次の各項目を奨励することにある。第1、第2、第3、第4、このロータリー活動のロータリーの根本的な活動の目的がこれであるというふうに言われております。ただ今は、ロータリーの目的となっておりますが、これは2013年の規定審議会の時にロータリーの綱領と呼ばれていたものを、今度はロータリー目的という形にその当時で2013年の段階でバージョンアップしたものです。現在、このロータリーの目的というものが大変大きなものとして取り上げられているというわけでありまして。そのロータリーの5条の目的のために、3条のほうにクラブの目的というのが掲げられているわけでありまして。読んでみますと、本クラブの目的は次のとおりであると。ロータリーの目的の達成を目指すこと。今、5条で読んだところのロータリーの目的を達成することが我がクラブの目標なんだと。その次、B. 五大奉仕部門に基づいて成果溢れる奉仕プロジェクトを実施すること。これがクラブの目的なんだと。C. 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること。これがクラブの目的なんだと。D. ロータリー財団を支援すること、これが目的なんだと。ここまでは今までどおりのことをわざわざあらためて言っているようですが、新しい項目としてこのE、クラブレベルを超えたリーダーを育成すること。これは2016年までは一切出てなかった項目であります。今までクラブの中でロータリーの経験年数を積んで、クラブの会長をするとあがりとなって、それ以降ガバナー補佐であるとか、地区のガバナーであるとか、地声大きいので聞こえると思ひました。そういうふうなことを目指すのは特別な人だというふうに思ひていたパスト会長がほとんどだと思ひます。このE項目はまさにパスト会長のために1項目加えられたとパスト会長の皆さん方思ってください。クラブレベルを超えたリーダーを作る。つまり、パスト会長の皆さん方は西ロータリークラブを超えて2530地区、さらには国際ロータリーまで飛んでってもらいたい。それがクラブの目的になっているとい

うふうなことであります。そのために、クラブ研修リーダーというのを作るというふうな形になって、ロータリー情報委員会というのが新入会員に対してロータリー情報を提供するためにロータリー情報委員会。特に入会3年目の人を中心としたロータリー情報委員会というのが、パスト会長の必ずやるコール委員会だったわけですが、今度はそれが終わったら、我がクラブを羽ばたいて国際ロータリーの理事、並びに国際ロータリーの会長を目指すように。これがまさにクラブの目的になっていると、こういうふうな新しい項目が加えられるということを認識を新たにしてもらえればと思います。原文で言いますと、私の注釈にあります3条のクラブの目的というものは英語ではpurpose (パーパス) です。purposeというのは行動や行為を行う理由や動機に使うという意味の目的です。5条のロータリーの目的を達成するためにpurposeというクラブの目的があるんだというわけですね。5条の目的というのは、英語の単語で言うとobject (オブジェクト) です。objectは行動や行為が目指すその目標やゴールに使うところの目的だというふうな、言語によっても使い分けられている。日本語では同じ目的ですが、英語の原文にあたるとその目的の意味するところが多少違うんだというふうなことも改めて認識してもらえればというふうに思います。簡単ではございますが、クラブの目的という新しい定款に内容があるということをお話をさせていただきます。今日の会長の時間に代えさせていただきます。今日も例会、よろしく願いいたします。

■幹事報告

兼子聡幹事

- 国際ロータリー第2530地区：第3回会長・幹事会開催のご案内
- 国際ロータリー第2530地区：「石黒秀司ガバナーエレクト国際協議会壮行会」のご案内
- 国際ロータリー第2530地区：台風19号による被害調査並びに奉仕活動基金・被災された会員への義援金協力について
- 福島県クリーンふくしま運動推進協議会：令和元年度協賛金納入について／令和元年度視察研修会について／令和元年度福島県クリーンふくしま運動推進協議会県南地域協議会定期総会について

■本日のプログラム

地区大会の報告

○鈴木孝幸会員



皆さん、こんばんは。10月27日、日曜日、芳賀裕ガバナーのもと、「つなごう奉仕の心を」ということで、福島市の「パルセ飯坂」で2530地区の地区大会に西ロータリークラブで参加して参りまし

た。簡単ではございますが、私のほうからご報告したいと思います。まず、参加者は、中目会長、兼子幹事、渡部会員、山口会員、吉田充会員、小林仁一会員、阿部克弘会員、村上会員、三瓶会員、堀田会員、運天会員、鶴丸会員、私の13名で参加いたしました。会長、幹事は26日から泊まりで参加しておりまして、残りの11名が27日の朝から参加ということでした。これはその当日のプログラムの表紙をコピーしたものです。今、映っているのがプログラムの第一日目、皆様のお手元にお配りしておきましたのでご覧ください。このプログラムによりますと、会長、幹事は1日目、10時50分からの幹事会から出席したと思います。それから、16時20分閉会とR I会長代理ご夫妻歓迎晩餐会に出られたんですね。ほぼ終日の参加ということで、大変だったと思います。1日目の内容につきましては、また機会があったときに会長のほうから報告していただきたいと思っております。これはいただいた写真ですけども、1日目の会長幹事会の様子です。皆さんの背中から緊張が伝わってくるような感じに見られます。この写真は先程の2時半から写真でございます。ちょっと見にくいんですが、8時半から登録が始まりまして、オープニングアクトという東邦銀行の吹奏楽部さんが演奏したんですが、実は我々それは聴けませんでした。というのは、二本松インターチェンジから福島西インターチェンジまで事故で通行止めということで、我々車で向かっていたんですが渋滞に巻き込まれました。本宮インターから手前で降りて向かったんですが、これは山口さんのほうから送られてきた、こんな感じだよというような写真です。二本松インターの出口500メートルもう全然渋滞が解消されずにこの有様でございます。この写真は我々バス組のほうで撮った写真ですけども、やはりこの二本松の手前ですね。4号線でもこの有様です。行きたくなくてじゃなくてただだらしてたんじゃなくてですね、こういうような状況で会場に着くのが遅れてしまったという、ちょっと言い訳がましく写真を映しておきます。バスの中で郡山から先も高速道路が混んでいるということで、もちろん会津もいわきも郡山もすごい渋滞に巻き込まれているんだろうと思って来ました。中目会長に連絡をしてみたら、会場に来てないのは西クラブだけだったということで、ちょっと青くなって、ただ半分開き直りつつ一生懸命向かって会場に行ったわけです。多分、会長も心細い思いで待っていたんだと思います。会場はこんな感じで超満員。こうやって遅れながら到着した時に、ちょうど白河ロータリーの鈴木邦典パストガバナーが、資格審査委員会の委員長として登壇してた頃ですね。プログラムからすると10時半くらいに近い時間だったのかなと思います。次の写真です。この写真は多分選挙委員会の佐久間委員長か決議委員会の酒井委員長の写真だと思います。次の写真ですね。これはこのプログラムのとおりで行きますと写真は各種表彰、感謝状贈呈の様子です。後ろにいるかわ

いらしいピンクの二人は、福島ですからミススピーチさんが協力してくれています。こんな感じですね。感謝状の贈呈です。次の写真です。この人が米山親善大使の韓国の李英愛さんですね。この方がスピーチということで、喋っていただきました。実は私、恥ずかしながら米山親善大使の役目というのがちょっとよくわからなくて調べてみました。米山記念奨学事業の魅力を日本全国や世界にPRすると。奨学事業の素晴らしさを世界にPRすると。そして、言い方を変えれば米山さんがこんな立派な私たちを作ってくれたということを世界中に広めて、偉大な仲間づくりに貢献するみたいなことが奨学会のホームページに書かれていました。ちなみに、ロータリー米山記念奨学会には現在、モンゴルのエンフボルドさん、ちょっと写真はないんですが、エジプトのアブデルアールさん、そしてこの写真の韓国の李英愛さんの3人が親善大使として活躍されています。3人共もちろん米山の学友で、学友が2万人いるというのは知らなかったんですけど、2万人の米山奨学生の代表として今後も活動していく模様であります。次の写真が桜井権司RI会長代表です。RIの現況報告をしていただきました。そしてその後、地区現況報告として芳賀裕ガバナーから報告をいただき、芳賀裕ガバナーからの報告の状況というのを写真撮らなかったので、



一応RI会長代理の報告内容が吉田充さんが撮ってしてくれたので、その内容をご紹介します。多分、時間も若干あるのでこの現況報告は多分地区大会でしか見られないのかなと思いますので、ちょっとこの資料を基に説明していきます。こんな感じですね。まず、RIと地区クラブの関係ということでRIの目的として、一つ目にロータリーの目的を推進する地区のクラブを支援する。二つ目にロータリーが拡大していくために支援を行って、またそれを管理する。三つ目にRIからクラブへの活動の調整と指導という説明がございました。次は、戦略計画の背景ということで、これからの社会のニーズに合わせた活力ある組織に変えたいということで、4つの提案ですかね。一つ目はロータリーの理念、ビジョン、活動を明確にして社会に適応出来るようにすること。二つ目はロータリーが持つ人的支援、活動計画を効果的に発揮すること。三つめは計画の優先項目を決めてクラブの活動計画と連携すること。四つ目に以上の項目を確実にするために3年ごとに見直していくということです。会長が1年ごとに変わるのに、3年ごとにはやっぱりしっかり見直していかないといけないんですね。次は、新戦略計画の概要ということで、以下の4つの行動計画を立案し実践することで、一つ目は行動する人が手を結んで価値観を



同じにして世界と自分との間に持続可能な変化を生むということを述べています。ちょっと私にはこの内容はびんと来なかったんですが、二つ目は、ロータリーの組織と強化。組織を強化してロータリー活動や事業に参加する関係者すべてが有意義で価値ある経験をできるようにすることによりロータリーの威厳を守り地域社会を良くする。三つめは、ロータリーのビジョン実現のために国際ロータリー全体の活動計画であるということ。四つ目は、各クラブでもクラブに合ったような活動、行動計画を立てること、ということをおっしゃっていただきました。次は既存の概要ということで、これは先触れGLP、CLPの採用とありますけれども、GLPとは地区リーダーシッププラン。CLPというのはクラブリーダーシッププランの略でございまして、ちょっとこれはネットで調べると出てくるので見てみてください。そして、2005年長期計画があって、内容的には7つの優先項目などがあって、これも見ていただくと探せるので確認していただいて、そして2012年戦略計画へと続いていくということになります。あとは行動計画、それを踏まえた上で行動計画を表した一覧の表です。ロータリーの変わらぬ理念、未来を目指してビジョンを支えるための時代に合わせた行動指針としまして、優先事項をこの4つをあげておりますので。一つ目はインパクト。二つ目は広げる。これは後でちょっと読んでいただきたい。三つめは積極的な関わり。四つ目が協力、ということで、ロータリアンは世界を変える行動人であると。世界で地域で自分の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指すというふうに言っています。次は、変わらぬロータリーの論理ということで、最上段には先程話に出てきました2010年に策定した戦略計画というのがありまして、それは3つの大項目があって、クラブのサポート強化。人道的奉仕と奉仕の重点化と増加。公共イメージの認知度の向上というのがある絵です。これが最後の結びということで読み上げますが、ロータリーには友情と奉仕で結ばれた仲間がいます。クラブレベルで個人レベルでできることが沢山あります。行動すればすべて自身に戻ってきます。なんとなんと豊かな人生でしょうということが終わりになっています。下の英文の訳なのか、ちょっとわかりにくいところもありますが、こういった内容であるということをおっしゃって報告していたのを報告いたします。次のプログラムは、ロータリー学友によるミニコンサートということで、本当はパワーポイントで落としたりして、音楽が鳴るようには考えたんですけど、ちょっとなかなかそういう時間がなくて吉田充さんがちょっと撮っていただいたこのピアノを流しながら話したいと思います。この写真の上の方は富山律子さんといまして、福島市在住の方で2009-2010年のロータリー財団国際親善奨学生としてオーストラリア、ウィーンに留学した方です。この下の方ですね、



梁取里さんといまして、この方も2013年国際ロータリー財団2530地区奨学生として、やはりウィーンへ留学しています。非常になかなか聴く

ことができない腕前で、ピアノとこの方はメゾソプラノと書いてありますが歌を歌って素晴らしい歌声でございました。さらに今度は、平澤仁さんと長谷川広美さん。やはり同じように奨学生で、平澤仁さんにつきましてはヴァイオリン奏者なんです、東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターをやっておられました。ということで、非常に豪華な演奏会でありました。この音楽データ欲しい方は充さんに言われると送ってくれると思います。ということで、こちらのこの方がヴァイオリンのひいてる風景ですね。次、待ちに待った



昼食ですね。このような豪華なお弁当でおもてなししていただきました。兼子幹事は多忙なのか、非常にお腹が空いていたのか、このお弁当をなんと2つも平らげていました。そのあと青少年委員会、米山記念奨学会委員会による活動報告がありまして、この写真は青少年交換留学生やRYLA参加経験者、ローターアクト、米山記念奨学生の紹介の場面です。もうちょっとアップするとこんな感じですね。



一人一人が紹介されて、非常に元気ある声で上手な日本語で挨拶していたのが印象的でございました。ちなみに、2019年の米山記念奨学生は24名おりまして、内訳はベトナムからは6名、タイからは1名、ミャンマーからは3名、中国からは7名、ネパールは4名、ナイジェリアが1名、スリランカが1名、韓国が1名ということになります。自己紹介が一番最後に挨拶したのが韓国のパク君という奨学生の方だったと思うんですけども、今の社会情勢からなのかちょっと元気がなく感じました。こういう状況だからこそ、韓国の奨学生を沢山採用して国際親善に一躍かっていくのもいいのかなと思いました。次の写真ですね。これ記念講演の講師のソフトボールの宇津木妙子さんですね。非常に素晴らしいお話をさせていただきました。皆さんご存じだと思いますが、元日本代表の監督でござ

います。白河でいえば、元オリンピックの監督のオリンピック競技、自転車競技の監督の班目さんみたいな存在ですね。宇津木さんの話があまりにも上手で、わたくしでもできるなら20年前に遡って、子供たちともう一度一緒に情熱的にサッカーをしてみたいと思った次第であります。宇津木さんの今後の活躍を期待しています。宇津木さんは沢山本を出してまして、興味のある方は是非取り寄せて読んでみてください。こういった方ですね。非常に明朗で感情のこもった話し方をして良い話でありました。実はこの後、一度会場を出まして全員で証拠写真というか集合写真を撮りました。というのはその後、私と山口さんと小林さんはちょっと所用で職業奉仕で先に帰ったということですね。したがって、この後の説明は私いただいた写真で想定で説明いたします。プログラムに乗っ取りですね。まず、この写真はガバナーエレクト、郡山ロータリークラブの石黒秀司さんの挨拶の様子の写真です。顔はネットで調べたので間違いのないと思います。この次の写真ですね。これはガバナーノミニの志賀利彦さんですね。いわき小名浜ロータリークラブで、職業分類は電気工事業の方です。この写真は芳賀裕ガバナーが次年度の地区大会の開催地を発表するところの写真だと思えます、多分。こんな感じで発表して多分郡山ロータリークラブということは言ったんだと思えますね。次の写真が、そういった話をした後大会の所感かなんかをRI会長にお話していただいて、記念品贈呈後のガバナーそれぞれの令夫人と一緒に記念撮影を撮ったところの写真だと思えます。これは来賓の方々の様子ですね。これは福島市に古閑裕而音楽賞基金というのがありまして、その授与式のはじめの案内スクリーンですね。多分これが授与しているところですね。多分、RI会長がせっかく来ていただいているので、授与にということだと思えます。これは会場で売ってしまっただけでポリオで死んでしまうよという、ジャッキーチェンの毒入りリンゴですと、それは全然嘘なんですけど、こういった配慮がありました。私はちょっと実は買わないで帰ってきてしまいました。これが先ほど言いました集合写真であります。この時、ちょうど山口さんは職業奉仕で来られなくて、この集合写真には写っていません。こんな感じですね。これで一連の内容が終わりまして、地区大会が終わりまして、この後メンバーは白河に帰りまして、打ち上げは定番の「ゆがふ」ということで行われたようでございます。私は残念ながら出られませんが、ちょっとメッセージに上がった写真がこんな写真ですね。この時点で三瓶君は何か梅サワーちっくなものを太いストローで飲んでいると。アルコールをストローで飲むとすごい効くんですね。なんかずいぶん盛り上がったのかなと。結局、最終的にはこんな感じで非常に盛り上がった懇親会になったのかなと思っております。

最後、終わりよければすべて良しで、中目・兼子年度の地区大会大成功ということですね、私のほうからの報告はこれで終わります。ご清聴ありがとうございました。

○堀田一彦会員



皆さん、こんばんは。鈴木孝幸会員の詳細な報告が終わってしまったので、何話そうかなと思ってるんですけど、反省会しか残っていないので、その飲み会の部分をそれなりに話していきたいと思います。まず、朝7時15分新白河駅に集合で僕がマイクロバスの運転手をして行ったんですが、まさかの山口パスト会長が寝坊ということで、二度寝ですよ。二度寝をされて、すいません間に合いません自分の車で行くので先に行ってくださいと連絡がありましたので、8人でマイクロバスで白河駅を7時半に出発して、「パルセ飯坂」のほうに向かったんですが、7時半前くらいですかね。中目会長からメッセージがあり、二本松～福島西間が事故のため通行止めなので、気を付けて焦らずに来てくださいというふうなメッセージが入ってまして、誰もその情報知らないのに会長が一番最新の情報を送ってくださりまして本当に助かりました。郡山くらいまでは二本松まで高速を使ってそこでインターを降りて飯坂の方に向かうかなと思っていたんですが、本宮のちょっと手前くらいですかね、渋滞が3キロ、二本松インターが3キロ詰まっているという情報が出たので、本宮インターで降りましてそこから下道で向かったんですが、同じようなことを考えている人たちも大勢いまして、下道に入ってもかなりの渋滞で二本松くらいが一番混んでいまして、結果的に1時間10分くらい着くのが遅れてしまいました。それと、午前中の最後に先程も説明がありましたがロータリー学友によるミニコンサート、これを行ったんですが、ちょっとプログラムを詰め込みすぎていまして30分くらい押してたんですね。それで、ミニコンサートの一番最後に全体合奏として古関裕而さんの「栄冠は君に輝く」これを皆さんで演奏してくれる予定だったんですが、かなり時間が押してまして昼食時間が無くなってしまいそうでしたので、これがカットされてしまったので、一番聞きかかった「栄冠は君に輝く」が聞けなかったのはちょっと残念でした。それと宇津木妙子さんの講演を聞きまして、宇津木さんは小学校の頃、まずソフトボールを始めたきっかけというのが小学校の頃、お母さんに褒められたくてソフトボールを始めました。勉強とかが駄目だったので、末っ子でお兄さんお姉さんがみんな褒めてもらえるのに、何も褒めてもらえるものがなくてそれがソフトボールだった。ソフトボールを始めまして、中学に上がってから今度はお母さんのためではなくチームメイトのために頑張ろうというふうに思ったらしくて、

今度はチームメイトのために頑張ってるソフトボールを続けたと。それから、現役を引退されて今度は監督になれるんですが、今度は監督になったらそれまでいろいろ育ててくれた皆さんのために頑張ってる結果を出そうということで、選手と全力で向き合ってるソフトボールとも全力で向き合ってる、さらに自分自身とも全力で向き合うというふうなことをしてきたので、かなりの良い結果が出たのではないかとこのようなお話をされていまして。来年の7月22日、あづま球場でソフトボールのオリンピックが始まるんですが、7月22日がソフトボールの日本代表エースの上野由岐子さんの誕生日です。さらには宇津木妙子さんの結婚記念日です。なので、是非あづま球場に足を運んでください。もし、来ていただけたならノックを打って差し上げますというお話がありました。あとは地区大会が終わりまして、「ゆがふ」の懇親会のお話を少しさせていただきます。当日、運天君のところイベントに出店してまして、たまたまタピオカが余ったので、ちょっとハイボールに入れてみようということになりまして、あれはあのストローはタピオカを吸うための太いストローでお酒を飲むためのストローではなかったんですね。ただ、三瓶先生が美味しくそうにタピオカハイボールを飲んでいらっしゃいました。多分美味しかったと思います。かなりご機嫌になられていたので、美味しくかったんだと思います。ほかの人たちは普通にお酒を飲んで楽しい会話をしておりまして。以上、地区大会の報告です。ありがとうございました。

○中目公英会長

地区大会の報告、本当にありがとうございました。ロータリーのビジョンは、先程孝幸さんが言ったとおり、私たちロータリアンは世界で地域社会で自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しますというのが、これがロータリーのビジョンであります。そのビジョンを実現するための戦略計画。言語はStrategic planですけども、Strategic planといえば違和感はないのですが、日本語に直して戦略計画というと、なんか戦争の作戦を立てるtacticsのような意味合いでとられる可能性がありますので、宮本中長期委員長はこれは戦略計画は止めよう。我がクラブは今度の定款ではビジョン推進というふうな、そのロータリーのビジョンを推進していきましょうというふうに読み替えて同じことを言うようになりますので、皆さん方が国際ロータリーで偉くなって、何で我がクラブには戦略計画がないんだって言った場合には、その意味を同じくするビジョン推進と変えるつもりでありますからご理解をいただければと、最後にまた一つ定款変更の前触れをさせていただきまして、今日の例会を閉じたいと思います。今日は本当にありがとうございました。